

KI News & Topics

Irregular Newsletter vol,4



大木記念女性のための菊池がんクリニック・ストレスケアセンター
〒359-1133 埼玉県所沢市荒幡111-1 Tel/04-2928-7311 Fax/04-2928-7306

特集：がん検診について

婦人科腫瘍専門医が診断・治療

乳がん検診

乳がん発見のきっかけは自己検診により①しこり②乳汁分泌③痛み④張り、などです。このような症状がある方または3年以上検診を受けていない方、また3親等以内の乳がんになった方のいる方は『ハイリスク』に入りますのでぜひ検診を受けて下さい。初回検診で異常の見つかった方は第1および第3土曜日の乳がん専門医による精密検査を行っております。

子宮がん検診

子宮頸部がん

このがんは検診によって発見できる唯一のがん

です。子宮頸部がんの発生源因であるヒューマンパピローマウイルスは女性では70%が性交渉によって感染します。その大部分は自然焼失しますが、ごく一部で持続感染がおりがんへと進展します。性交渉があったら3年以内に、また性交渉の活発な若年層では毎年の検診が必要です。ぜひ若い女性に検診を勧めて下さい。

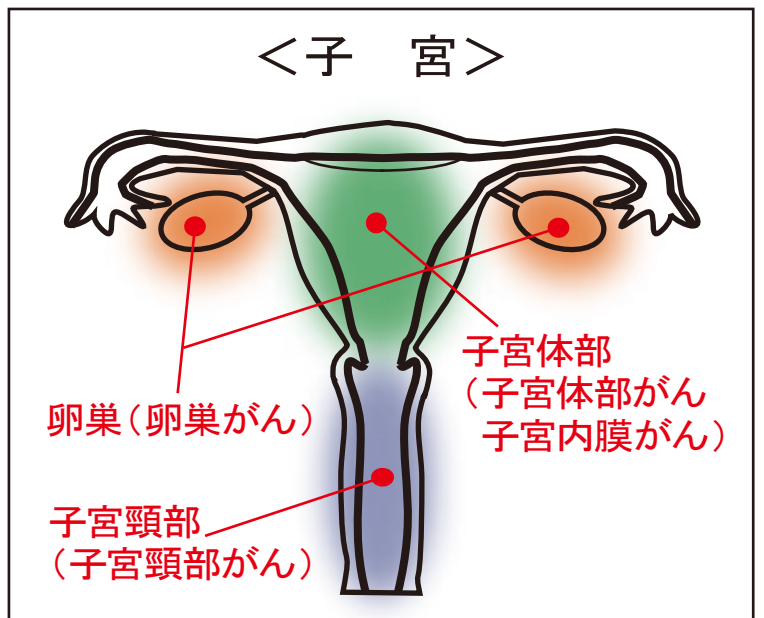
子宮体がん 子宮内膜がん

このがんは集団検診が困難ながんで、1回の検診で診断できる確率は60%程度です。3回目の検診でようやく見つかるという例も少なくありません。当クリニックでは子

宮体がんになりやすい新しいバイオマーカーをプロテオミクス解析で見出しており、このマーカーが陽性の方は子宮内膜細胞診または子宮内膜搔爬を行い早期発見に努めております。

卵巣がん検診

検診での早期発見が極めて難しいがんです。卵巣がんの自覚症状は特にありませんが、チヨコレート嚢胞と診断されている場合は特に注意が必要です。チヨコレート嚢胞



が40歳代でも残存している場合は抗がん剤が無効な明細胞がんになり、50歳代になると明細胞腺がんになる可能性が多くなります。当クリニックでは卵巣がん専門の医師が診断を行っております。(さらに詳しい内容をホームページに掲載しておりますのでご覧ください)